

## [講演要旨] 歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイドについて

山本真一郎\*(愛知県,名古屋大学)・武村雅之・都築充雄・山中佳子(以上,名古屋大学)

・宮尾浩一・小山彰(以上,応用地質株式会社)

### § 1. はじめに

地震防災対策の推進,県民への啓発においては,過去の歴史地震による被害等に学ぶことが重要であり,歴史地震についての記録を活用することが求められている。愛知県では平成 25 年度に,県内に残る地震・津波にまつわる碑や史跡,市町村史等における被害の記録等について,文献調査や現地踏査を行い,写真と解説付きでまとめた「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド」を県内 6 地域編+全域編として作成し,広報啓発を行う事業を実施した。

### § 2. 記録の収集等とデータベース作成

事業においては,歴史地震記録の収集等として,県内市町村,図書館等への調査,そこで得られた情報に基づいた聞き取り等により情報を収集した。

調査の過程で抽出した歴史地震記録については,その原典をスキャンし,pdfデータとして整理した。

また,これまでの地域での歴史地震記録の調査状況や今回の調査で収集した歴史地震記録を整理し,下記の2種類のデータベースを作成した。

・歴史地震調査データベース

県内の歴史地震記録に関する資料等の所在について調査し,これまでの調査状況も踏まえ,県内の歴史地震記録に関する資料等の全体像を整理して,歴史地震記録の調査状況を管理するデータベース

・歴史地震記録データベース

この地域でこれまでに収集されてきた碑や史跡の情報,被害の記録等及び今回の調査において収集された碑や史跡の情報,被害の記録等を整理し,歴史地震記録を集積するデータベース

### § 3. 防災・減災ガイド等の作成

上記データベースのデータをもとに,県内の歴史地震記録を紹介した「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド」,「歴史地震記録探索まちあるき教本」等を作成した。

「歴史地震記録に学ぶ防災・減災ガイド」は,歴史地震記録データベースのデータを利用しながら,県内を 6 地域に分けて,それぞれの地域の地震・津波にまつわる碑や史跡,被害の記録等を紹介するものとして作成している。

ガイドには,地域の歴史地震記録の紹介のほか,地震や水害の年表,地域に残る教訓や防災・減災のための一口メモ等も掲載している。

また,ガイドの碑や史跡を紹介したページを中心に,A1 版の啓発用パネルも作成している。

「歴史地震記録探索まちあるき教本」は,ガイドの内容をより地域にフォーカスした形でとりまとめたものであり,県内 5 地区を対象として作成している。このまちあるき教本は,実際に碑や史跡を見ながらまちあるきをすることを念頭に,徒歩で散策できる範囲の情報を掲載し,ハンドブックサイズとして持ち歩き,書き込みながら地域の歴史地震記録について学べる冊子としている。

さらには,ガイド等の内容を web で閲覧できるようホームページも作成している。ホームページでは,地図上に碑や史跡の位置情報をプロットし,実際の所在地がわかりやすく表示される仕組みとしている。

### § 4. キャラバン隊による啓発活動の実施

作成したガイド等を用いて,歴史地震記録について広く周知するため,県内で開催される防災イベント等に啓発部隊を派遣し,イベント等の参加者に対して,ガイド等を配布し,歴史地震記録に学び地震に備えることの重要性について啓発活動を行った。

派遣先では,今後の情報収集につなげるため,歴史地震記録に関するアンケートについても実施した。

また,図書館や児童館への派遣も想定されたことから,歴史地震記録から防災・減災を学ぶ内容の小学生向けの紙芝居も作成し,この紙芝居を利用して,子供向けの啓発イベントも実施した。

さらには,地域における歴史地震記録を掘り起こし,継続的に災害伝承に取り組まれる仕組みを作り上げるため,アンケートでの地域の意見の収集に加え,地域の組織と協働したイベントとして,地域の防災組織の方々と一緒に歴史地震まちあるきを実施した。

### § 5. 成果品と今後の活用

今回作成したガイドやまちあるき教本,作成した web ページ等について,今後も歴史地震記録を伝承し,歴史地震記録から防災・減災を学ぶための啓発資料としてその利用方法等について継続的に検討していくことが求められる。

また,データベースについては,今後引き続きこの地域で調査・研究が行われる際の基礎資料として,また,上述のように歴史地震記録から防災・減災を学んでいただくための啓発資料として利用され,継続的に更新されていくことが期待される。